

6 学 校 教 育

◎ 基本目標

「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子供の育成」
 ～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

1 現状と課題

本市は、長年農業と先端技術工業を産業の基盤として、いわゆる農・工一体型の地域社会として様々な叡智を編み出し駆使しながら発展してきている。また、自然・科学・文化・芸術等の分野に多くの優れた人材を輩出しており、学校教育においても、地域の教育資源や人材を積極的に活用し、感動ある学び・意欲的な学びの創造等を核に各種施策を進めてきている。

各校ではふるさと教育を基底としたコミュニティ・スクールを推進し、各地区の歴史・伝統を踏まえ、特色ある教育課程を編成している。児童生徒一人一人は、具体的な目標の実現を目指して主体的に学習に取り組んでいる。そして、粘り強く科学的に対象を見つめ、思考したり表現したりする活動を通して、これまで、日本学生科学賞内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・旭化成賞受賞、自然科学観察コンクールでオリンパス特別賞受賞、未来の科学の夢絵画展文部科学大臣賞受賞、全国小中学校作文コンクール文部科学大臣賞受賞や、青少年読書感想文コンクール毎日新聞社賞受賞等、科学分野や文芸等で全国的にも優れた賞を受賞するなどの成果が見られる。

これらのことを踏まえ、今後も科学する心と力を育む教育を一層進めるとともに、科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育に努め、地域の期待に応えるようにする。その際、教育・人材育成の基本として「子供に“寄り添い、教え、導く”」ことを理念に活動を展開していきたい。

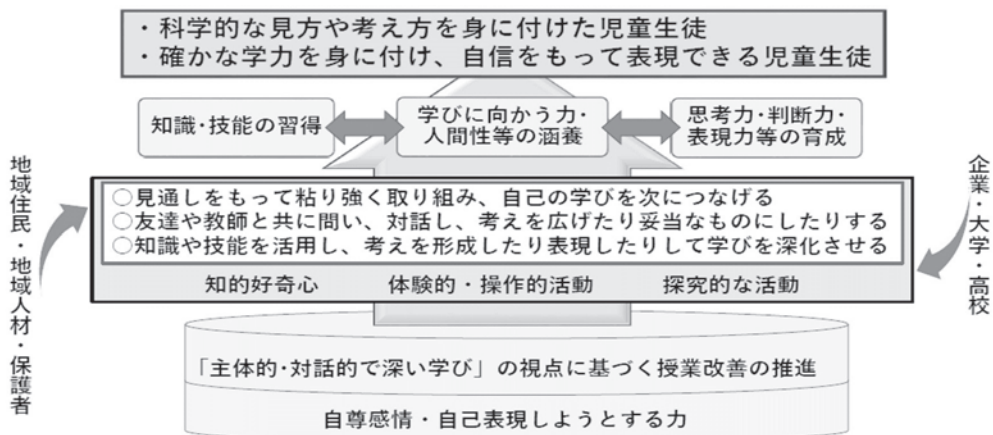
2 基本方針

○ 「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子供の育成」

本市ではこれまで、各地域の特色を生かした体験活動や道徳及び特別活動の指導を重視してきた。その結果、人や自然を敬い感謝する心が育まれるとともに、先人の業績や地域の文化に触れるふるさと教育を通して、学習に広がりや深みが増してきている。

そして今年度も、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、見通しをもって粘り強く取り組み、協働することによって考えを広げ、学びを深めることができるような授業づくりに努めていく。また引き続き、授業スタイルの柔軟な活用や学習の基盤となる言語能力の育成を図っていく。そして、人とともに心を通じ合わせながらよりよく生きる子供、自らの思いや考えを基に新しい価値を創造する子供、また、ふるさとへの理解と愛着を一層深め、心身ともにたくましい子供の育成を図っていきたい。

～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～



由利本荘市が目指す人間性豊かな子供像

- 自然や地域文化を愛し、他人を思いやり奉仕する、心豊かな子供
- いのちの尊厳や万物共生の精神を理解し、たくましく生きる子供
- 目標をもち、自信と誇りをもって科学的に探究しながら、学び続ける子供

3 学校教育の重点施策

(1) 地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり（コミュニティ・スクールの充実）

- ① 自己実現を目指すふるさと教育・キャリア教育
 - ・ 子供一人一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実
 - ・ 地域の人材や教育資源の積極的活用
 - ・ 学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実（CS-キャリア教育の推進）
 - ・ “学ぶんチャレンジ・プログラム”の活用
- ② 中学校区を中心とした小中一貫教育の推進
 - ・ 小学校から中学校への接続の円滑化（中1ギャップへの対応）
 - ・ 小・中合同会議における、ワークショップ型等の協議の充実
 - ・ 児童生徒の規範意識の向上、異年齢集団での活動による自尊感情の高まり、教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の一層の高まり
- ③ 学校・地域間の情報共有
 - ・ 関連事業の学校便りへの掲載、CS通信の発行
 - ・ 全国学力・学習状況調査の結果の概要の公開
 - ・ 「いじめの根絶、不登校の防止」につながる連携、情報交流
 - ・ 学ぶんボードの活用（全小・中学校、公民館での掲示）

- ◇ 「地域の良さに気付く子供」「地域の課題に目を向ける子供」「地域の未来を考える子供」の育成
- ◇ 学校と家庭、地域相互の働きかけによる学力向上への取組
- ◇ 学校運営協議会、地域運営協議会の設置と市連絡協議会の開催による、組織的で計画的な運営
- ◇ CS協働コーディネーターの配置による、学校・地域・行政等の連携による各自の事業計画に基づいた取組の活性化

(2) 確かな学力の形成

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践的研究の継続
 - ・ 主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善への取組や、子供の姿を基にした、育てたい資質・能力に焦点を当てた授業分析と小中連携の推進
 - ・ 各校教職員による、協働的・組織的・自覚的な研修体制の確立
 - ・ 「求めて学ぶ主体的な学習」を支える手立ての工夫と学習形態や学習過程の柔軟な展開（問題把握→学習課題の設定→自力解決→学び合い→まとめ→振り返り）
 - ・ 身に付けたことや自己の変容など、学びを自覚し、学びをつなげる振り返り
 - ・ 「一人勉強ノート」による家庭学習の推進と、リーフレットによる保護者への啓発
- ② カリキュラム・マネジメントの推進
 - ・ 「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」（R元～2）による研究の推進
 - a：学校の教育目標等の設定及び実現に向けた取組
 - b：学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた取組
 - c：現代的な諸課題に対応するための資質・能力の育成に向けた取組
 - ・ 教育活動の効果を高める教育課程の編成の工夫
- ③ 理数教育等の充実
 - ・ 体験的・操作的活動の充実及び学びに向かう力の醸成
 - ・ 考えをより妥当にする活動の充実と、考えたことを条件に応じて適切に表現する力の育成
 - ・ 科学フェスティバル等、児童生徒の科学に対する関心を高める事業の実施
- ④ 英語教育の推進
 - ・ 拠点校協力校「英語授業改善事業」（R元～）の研究成果の波及
 - ・ 外国語・外国語活動を担当する教育専門監の小学校への配置による教員の指導力向上
 - ・ A L Tを活用したパフォーマンステスト等の実施による多面的・多角的な評価の実施
 - ・ A L Tコーディネーターの配置による効果的な指導方法の工夫・授業改善に向けた研修の充実
 - ・ 小学校高学年の外国語教科化に伴う取組（指導体制の確立と評価に関する研究）
 - ・ 小学校での指導内容を踏まえた、中学校における言語活動の高度化及び授業改善の推進
 - ・ 中学校における移行期の指導内容の確実な実施（文科省教材「Bridge」の活用）

- ◇ 教育研究所・理科教育センター等による各種研修会の実施
- ◇ 諸調査における採点委員会の開催及び分析の早期活用
- ◇ 授業力向上訪問の実施（国語、算数・数学、理科、外国語・外国語活動）
- ◇ 教育専門監の配置（算数・数学、理科、外国語・外国語活動）
- ◇ 中学生アカデミーの実施（数学・英語）

⑤ 特別支援教育及び就学前教育等への支援

- ・「0歳から就労まで」の継続的・系統的な支援体制の構築
- ・早期からの教育相談体制の整備
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画等の作成を通じた支援の充実
- ・就学先への効果的な引継ぎ方法の確立
- ・外部相談機関の紹介と連携

- ◇ 5歳児健康相談による早期相談実施と関係機関との連携
- ◇ 確実な支援情報の伝達と共有（「学ぶんファイル」「引継ぎシート」の活用）
- ◇ 就学支援員の配置（幼児通級指導教室「さくら教室」、就学相談、学校見学、園との引継ぎ）
- ◇ 学校間連携コーディネーターの配置（教育相談、保護者面談、学校間の引継ぎ）
- ◇ 特別支援教育地域センター（鶴舞小）、相談ルーム（岩谷小）の活用
- ◇ 通級指導教室（鶴舞小：言語・LD等、矢島小：LD等、本荘北中：LD等）の活用
- ◇ 学校生活サポート（学習支援・生活支援・医療サポート）の配置
- ◇ 四課（健康管理、福祉支援、子育て支援、学校教育）定例会による情報共有と連携支援
- ◇ 医療・福祉機関、県専門家支援チーム等との情報共有と連携支援

⑥ 情報活用能力

- 情報機器等の整備と効果的な活用
 - ・情報モラル教育の充実（警察署や携帯電話会社等外部機関との連携）
 - ・第3期教育振興基本計画を踏まえたICT環境整備の推進と効果的活用の推進
 - ・プログラミング教育の導入と計画の改善及び教職員の実態に応じた研修
 - ・県立大学及び民間企業による講座等の活用
- 図書館の活用、読書活動の充実（朝の読書活動、読み聞かせ活動の充実）
 - ・学習センター機能を備えた学校図書館づくりの推進
 - ・学校図書館と公立図書館との連携強化（トライアングルプラン）
 - ・新聞等の効果的活用による、情報処理能力・問題解決能力等の育成

(3) 豊かな人間性の育成

① 育成すべき資質・能力を明確にした道徳教育の充実

- ・多面的・多角的に深く考えたり議論したりする道徳授業の在り方及び評価の在り方に関する実践的研究の推進
- ・指導計画の見直しと指導方法の工夫
- ・各教科や領域との関連を図った計画的な指導の充実

② 児童生徒理解と支援

- ・自己肯定感の醸成
 - ◇ 生徒指導の三機能を生かした指導の充実
 - ◇ 道徳教育やキャリア教育との連携による指導の充実
- ・人権教育の推進
 - ◇ 自分の大切さとともに他者の大切さを認める意識の涵養
 - ◇ 日常生活で行動に表そうとする態度の育成
- ・不登校・いじめ問題等への対応
 - ◇ 不登校児童生徒数の減少に向けたきめ細かな対応の充実
 - ◇ 保護者との連携やスクールカウンセラー等関係機関との連携
 - ◇ 児童会や生徒会等、児童生徒が主体となったいじめ防止への取組の充実
 - ◇ 市学校生活アンケート等による実態把握と適切な対応
 - ◇ 市いじめ問題対策連絡協議会の開催による情報交換と連携の強化

- ・虐待・貧困への対応
◇虐待の兆候や状況の変化等の把握及び言動や提出物等による発信への適切な対応
◇教職員間の情報交換と関係諸機関との密接な連携及び組織的対応

③ 健康でたくましい心と体の育成

- ・基礎体力向上への取組（体育学習の活性化、行間活動等の奨励）
- ・体力づくりのための創意工夫ある実践（チャレンジデー参加等）
- ・栄養教諭制度の円滑な実施をはじめとした食に関する指導の充実

④ 安全安心な通学路の整備と安全教育の推進

- ・「由利本荘市通学路交通安全プログラム」に基づく合同点検の実施と危険箇所等への対策
- ・児童生徒自身の防災意識や防犯意識の育成

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ◇ 教育相談窓口の設置 | ◇ 適応指導教室（本荘ふれあい教室）との連携 |
| ◇ スクールカウンセラーの配置（全中学校） | ◇ 中学生会議の開催と全中学校による共通実践 |
| ◇ 緊急連絡メールの有効活用 | ◇ 芸術鑑賞教室、劇団四季ミュージカル鑑賞 |

(4) その他

学校事務の共同実施

各学校の事務職員が情報を共有し、相互に支援し、共同で学校事務を処理することにより、事務の正確性、効率性、専門性を高めるとともに、学校運営及び教育活動への積極的な支援に努めることができるよう学校事務・業務の共同実施を推進する。

- | |
|------------------------------------|
| ◇「共同実施グループ」について（*）：拠点校 |
| ○ グループ1 新山小（*）、小友小、石沢小 |
| ○ グループ2 本荘北中（*）、鶴舞小、西目小、本荘南中、西目中 |
| ○ グループ3 由利小（*）、矢島小、鳥海小、矢島中、由利中、鳥海中 |
| ○ グループ4 大内小（*）、岩城小、岩谷小、岩城中、大内中 |
| ○ グループ5 本荘東中（*）、尾崎小、子吉小、東由利小、東由利中 |

[主な行事予定]

5月	・授業力向上訪問（～2月） ・教育研究所等運営委員会①（5/15） ・コミュニティ・スクール連絡協議会①（5/25）	10月	・中学校少年非行防止・防火弁論大会 ・親子読書感想文発表会 ・高橋宏幸賞感想文・感想画コンクール ・図書館を使った調べる学習コンクール ・通学路安全推進会議
6月	・教育委員学校訪問Ⅰ期 ・いじめ問題対策連絡協議会①（6/16）	11月	・教育委員学校訪問Ⅱ期 ・由利本荘市民音楽祭 ・中学生アカデミー ・教育支援委員会① ・箕面市中学生交流（11/18～11/19） ・PTA教育懇談会（11/27） ・第17回科学フェスティバル（11/28）
7月	・夏季教職員研修会（7/30） ・生徒指導研修会 ・情報教育研修会		
8月	・図書館担当者研修会（8/3） ・就学前・小学校地区別合同研修会 〔兼 市幼保小連携研修会〕（8/4） ・特別支援教育研修会 ・市初任者研修会（8/19） ・初期層研修会（8/19）	12月	・県学習状況調査（小：12/2、中：12/3） ・県学習状況調査採点委員会 （小：12/4、中：12/7）
		1月	・冬季教職員研修会（1/7） ・中学生会議（1/21） ・いじめ問題対策連絡協議会②（1/22）
9月	・児童生徒理科研究発表会 ・本荘由利英語暗唱弁論大会（9/1）	2月	・コミュニティ・スクール連絡協議会②（2/2） ・教育研究所等運営委員会②（2/3） ・教育支援委員会②

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、行事が中止または日程変更となる場合があります。